



第2526回例会（17／18年度第9回）  
平成29年9月8日（金）

- 点鐘並びに開会宣言～黒川 俊一会長
- 斉唱 ～ソングリーダー 三木 博之会員  
Rソング「我等の生業」
- お客様紹介 ～親睦活動委員会鈴木隆浩 委員  
船木 拓志 様（横浜西 RC 幹事）  
野村 豊 様（横浜西 RC 地区大会副幹事）  
市川 清 様（川崎北 RC）  
吉岡 憲士 様（川崎北 RC）  
都倉 八重子 様（川崎中原 RC）  
小林 正樹 様（川崎中原 RC）

■ 地区大会参加のご案内

- 船木 拓志 様
- 野村 豊 様



本日は11月10日・11

日に開催される地区大会のご案内でまいりました。これほど大変な事だとは思っておらず、日々準備に追われております。是非皆様のご参加を心よりお待ちしております。

■ 結婚祝い贈呈 ～黒川 俊一会長

高良直前ガバナー 次女ご結婚祝い

■ 理事会報告 ～黒川 俊一会長

- ①クラブ会計については順調に推移しております。
- ②大変残念な事ですが武笠博行会員より退会届が提出され理事会で承認いたしました。
- ③会員選考委員会並びに職業分類委員会より1名の会員候補者の推薦があり理事会で承認致しました。只今入会に向けて手続きを行っているところです。
- ④奥原第3G ガバナー補佐より去る7月14日例会のご挨拶の中で当クラブが使用している新会員を対象にした研修資料を第3Gの各クラブへ提供して頂けないかのご依頼

がありました。これについては当クラブが使用している「新会員入会の手引」を提供する事を決定致しました。

⑤先週の例会でミュージアム川崎シンフォニーホールの担当の方より卓話をして頂き、市内の不登校の子供たち等を対象に同ホールの鑑賞シートを当クラブで用意できないかとの提案がありました。理事会で審議した結果、毎月1回昼コンサート10名分の鑑賞シートを当クラブで用意する事と致しました。但し期間は来年6月の年度末までと致します。

■ 会長報告 ～黒川 俊一会長

①去る9月2日に田中伸一カウンセラーと共に「ロータリー青少年交換派遣学生帰国報告並びに今年度来日学生歓迎会」に参加してまいりました。当日は当クラブでお世話をした多胡七星さんを含め8名の学生たちが1年間の感想を述べ成長ぶりに感激いたしました。

②地区より次年度ロータリー青少年交換学生募集の案内が参っております。書類提出期限は10月13日（金）までとなっております。

■ 幹事報告 ～上松義典幹事会報裏面をご覧ください。

■ 各委員会報告

□ 出席委員会

本日	会員数	対象者	出席	欠席	出席率
2526回	70名	68名	58名	10名	85.3%
前々回修正		メキップ 3名		9名	87.0%

□ 青少年奉仕委員会 ～山寺 雄太委員長

先程黒川会長より話がありましたが、ミュージアム川崎シンフォニーホールの鑑賞シート10名分を今年度用意する事となりました。実施は10～11月頃を予定しております。

## ■ 卓話「川崎西 RC 50 年を思う」

～斉藤 二郎パストガバナー

ロータリーに入会して 48 年、色々なことがありました。退会を考えた事もあります、しかしロータリーは誰かしらの紹介があって初めて入会できるもので、知り合った友人とも別れがたく、簡単に辞める事はできませんでした。37 歳で入会した当初、周囲は 40 代以上の先輩ばかりでしたが、この先輩方からどれ程「人生哲学」を教わった事か！今は只々感謝の気持ちで一杯です。ロータリーは自分と周辺が順調でなければ長く続けられません、自分と家族の健康、理解（特に妻の理解と協力は大事です）、事業と経済的な事、とりわけ家族の理解と協力がなければ今日の私は無く、48 年間ロータリアンを続けられた事を心より感謝しています。そして学びました、「奉仕は人の為ならず自分の為」「相手の立場に立って考える」「約束の時間を厳守する」「忍耐と寛容の心を持つ」人として生きる為の大事な事も教えられました。

既に我がクラブはチャーターメンバー（創立会員）がおりません。最古参は創立 4 年目（昭和 44 年）に入会の私で、昭和 51 年の持田会員、53 年嶋崎会員、54 年荒井会員、55 年古賀会員、57 年片岡会員と続きます。我がクラブは昭和 40 年 12 月 4 日に会員 33 名（うち川崎北より移籍 2 名）、スポンサークラブ川崎北 RC 特別代表、水町四郎氏に依り高津ホテルで産声を上げ、一昨年めでたく 50 周年を迎えました。発会当時の顔ぶれを見ますと、その頃は大手企業が工場を高津周辺に展開しておりまして、役員さんも入会されています。日本通信工業の田澤龍吉さんを始め帝国臓器、三菱化成など、ほか専門職、中小企業と多彩な皆様に構成されています。ほとんどの会員はロータリーについて何も知らず、当初は色々と苦労したようです。2 代目会長を勤められた田澤龍吉さんは「このクラブは地元の人材がまだ若いので、我々外人部隊（大手の役員さん達）がクラブの発展の為に当分頑張らなければならない。」と折に触れて話しておられました。発会より 20 年位は田澤さんの影響力の元にクラブが発展してきたと言えるのではないかと思います。田澤さんは「ロータリーは習うより慣れるだ」と言い、全体的に非常に前向きな雰囲気でした。

現在は横浜と川崎で第 2590 地区を形成しております。かつては静岡、山梨、神奈川の 3 県で 1 地区を構成した頃があって、地区大会も各県の輪番制でしたので、親睦旅行が年に 2 度あるような感じで大勢で参加したものです。

2000 年頃まではガバナーに就任すると 1 つ以上の新クラブを設立する事が慣行になっていました。それに各クラブの増強分が加わり、今と違って相当数の会員増強が可能な時代でした。しかしこの無理な拡大が後の減少傾向に歯止めが掛からなくなった原因の 1 つではないかと、私は思



っております。また、現在ガバナーの選出は地区規定に則った民主的なものですが、以前は地区が候補者本人を直接指名するといった非民主的な選出方法でした。発会して 10 年位でしょうか、富士観会館の頃ですが、クラブでエレクトーンを購入し、例会前にロータリーソング、童謡唱歌を生演奏して雰囲気や和らげていました。当時は会員夫人を交えてヨガ、ダンス、墨絵等を高津ホテルで、野球、旅行など同好会活動の活発な時代でもありました。

我がクラブは 3 つの新クラブを誕生させています、第 1 子は川崎西北 RC（旧川崎多摩 RC）1972 年 10 月 7 日、移籍 14 名を含む 30 名で特別代表田澤龍吉氏に依り設立。第 2 子は川崎鷺沼 RC、1978 年 5 月 10 日、移籍 26 名を含む 30 数名で同じく田澤氏に依り設立。第 3 子は川崎高津 RC、1985 年 5 月 16 日、移籍 12 名を含む 35 名で特別代表鈴木清次氏。また、増強面では 83～84 年の斉藤二郎会長年度、69 名でスタートし、年度末 82 名（純増 13 名）、年間入会者数 16 名は発会後の最多記録となります。また、95～96 年の鈴木清次ガバナー年度には、一時的にですが会員数 100 名を達成したと思われま

す。昨年の RI の規定審議会で多くの改正がありましたが、段々とロータリーらしさが無くなる方向に向かっている感じがしてなりません、しかしこれも考えようで、自主権は変わらず認められているので、会員皆で、クラブが素晴らしくなる様に頑張ろうではありませんか、ロータリーは毎年の役員理事だけが頑張るのではなく、全員がそれぞれの役割を果してゆく事が大事で、全員がプレーヤーで観客はいない筈なのです。一昨年に創立 50 周年式典が盛大に開催され、昨年度の我がクラブ 4 人目となった高良ガバナーも、ガバナークラブとしての総力を挙げた支援のもと、立派に成し遂げられました。当面の成すべき事業は成果を挙げた訳ですが、ほっとしてばかりもいられません。先日の高良直前ガバナーの卓話でも言及されましたが、今後の我がクラブの目標が、全員で考えるべき課題かと思

います。私達は忙しい時間を割いて例会場に足を運んでいます。毎週出席したくなるようなクラブづくりを全員ですることが重要です。また、ロータリーは「教えてくれないから分からない」ではなく「分からなかったら先輩会員に聞く」というような積極的な心構えを是非お持ち頂きたいと思

います。地区内 57 クラブを見ますと、会員数はもとより、クラブ運営の様々な点で格差が広がっているように思います。歴史あるクラブでも惰性で運営していれば、つまらないクラブになってしまいます。会員皆で更に魅力あるクラブにして行きましよう、クラブの魅力とは？皆で考え、議論しましよう。最後に、「今あることが、当たり前ではない」「お互いを思いやろう、あたたかいクラブをつくろう」